

いしかわ国連 Ishikawa United Nations  
Study Visit Program

# スタディビジット・プログラム



学都石川から、「世界」への  
第1歩を踏み出せ！



# いしかわ国連スタディビジット・プログラムとは？

いしかわ国連スタディビジット・プログラムは、平成20年に全国初となる国連大学高等研究所直属の研究機関として「国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット(現・国連大学サステナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット)」設置がされたことによる国際協力・交流の取組みの一層の高まりを契機に、石川県と国連大学高等研究所等(現・国連大学サステナビリティ高等研究所)が連携し、将来国際社会での活躍を志す意欲ある学生を対象に国連本部や国際機関において国連の取組みの理解を深める機会の提供を開始したことがはじまりです。

具体的な内容としては、国際舞台での活躍を志す県内在住や県出身の学生を国連本部等へ派遣し、国際舞台の第一線で働く国連職員等から直接、国連の組織や活動、国連を取り巻く世界情勢等についてレクチャーやディスカッション形式のプログラムを受講することで、国際社会で活躍する若者を輩出するとともに、県内の高等教育機関の魅力向上を図ります。



いしかわ国連スタディビジット・プログラム  
同窓会会長 蓬田 大地

いしかわ国連スタディビジット・プログラムの魅力を挙げるとすれば  
①ここでしか得られない学び  
②ここだからこそある出会い  
③ここにしかない自分の将来へのチャンス  
の3つでしょう。

このプログラムでは、最前線で働く国連職員から講義を受け、いま世界で起きている様々な問題に対して議論を交わします。経験豊富な職員から学び、そして議論する機会は“ここでしか得ることのできない学び”でしょう。

また、このプログラムは“ここにしかない出会い”にあふれています。同期はもちろんのこと、OB・OGで構成される同窓会があり、「世界を舞台にして働きたい」という共通の高い志を持った者同士、世代を超えた交流をしています。さらに国連職員とつながりを持つことができ、実際に私もこの出会いのおかげで国連機関でのインターンの機会を手に入れることができました。

そして、多くの同窓生が“自分の将来へのチャンス”を掴んでいます。かくいう私もこのプログラムのおかげで自分の将来への道筋がはっきりとし、途上国でのボランティアや国連機関でのインターン、アメリカ医師国家試験受験という道のりを歩むことができました。

このプログラムには、言い尽くせないほどの魅力があります。「やっぱり挑戦してみればよかった…」と後悔しても後の祭り。決して後悔はさせません。このプログラムを通じて、意欲ある皆様にお会いできることを楽しみにしております。

派遣期間	2月～3月上旬頃(約2週間)※移動日を含む
派遣先	国連ニューヨーク本部等
対象者	18歳以上30歳未満で、研修を履行するに十分な意欲とコミュニケーション能力を有する、石川県内高等教育機関在籍または石川県出身の学生
選考方法	書類選考及び面接選考
費用	22万円程度 ※為替変動等により参加費が増える可能性があります。
備考	一部上智大学と合同で実施

**Check!**  
実際の訪問の様子はこちら!

いしかわ国連スタディビジット・プログラム同窓会 Facebook ページ



## プログラム日程 (参考) ※平成27年度に実施したプログラムです。年度毎に関係機

関と調整する為、内容が異なる場合があります。

1st DAY	2nd DAY	3rd DAY	4th DAY	5th DAY	6th DAY-7th DAY	8th DAY	9th DAY
<p>AM</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■国連本部視察</li> <li>■国連概観</li> </ul> <p>PM</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■高須事務次長特別講義</li> <li>■国連日本政府代表部表敬</li> <li>■上智大学派遣生との交流会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国連難民高等弁務官事務所</li> <li>■国連ソーシャルメディア</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■紛争予防</li> <li>■平和維持</li> <li>■石川県人会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平和構築</li> <li>■緊急時食糧援助</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■持続的開発目標と発展</li> <li>■国連教育科学文化機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■UNウィメン</li> <li>■国連環境計画</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■国連児童基金</li> <li>■アフリカの発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■平和の創造</li> <li>■上智大学との合同プレゼンテーション</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■上智大学との合同プレゼンテーション</li> <li>■国連食糧農業機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自由時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■国際労働機関</li> <li>■日本政府観光局</li> <li>■国連世界観光機関</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■世界銀行</li> <li>■国連人口基金</li> <li>■日本貿易振興機構</li> </ul>



### 国際連合本部訪問で私たちが学んだこと

2016年2月21日から12日間に渡って行われた、平成27年度のいしかわ国連スタディビジット・プログラム。派遣学生として石川県からニューヨークの国連本部などを訪問し帰国したばかりの7名と、すでにこのプログラムを経験した同窓生が参加した報告会の様子をレポートします。



牧口 奏江 金沢大学大学院 人間社会環境研究科 人文学専攻



京都大学大学院 文学研究科 社会学専修 松木 悠



金沢大学 人間社会学域 国際学類 三輪 聡子



金沢大学 人間社会学域 国際学類 吉村 優花

**牧口** 現地では国連本部はもちろん、さまざまな機関を訪問しました。なかでも印象に残ったのが、国際原子力機関 (IAEA) での講義。エネルギーについて問題意識を持っていた私にとって、とてもよい経験でした。そんな縁からか、春から IAEA の東京地域事務所働くことに。本プログラムで学んだことを生かせる事業ができたらと考えています。よい報告ができるよう、これからも頑張ります!

**松木** シリアをはじめ、世界のあちこちで紛争が起きている現状に、「国連はきちんと機能しているのだろうか」という疑問を持ったのが参加の理由です。国連本部で受けた講義の中でも、紛争予防に関するものが一番記憶に残るものでした。日本人職員から直接話を聞き、紛争解決には難しい問題がたくさんあること、地道に信頼関係を築くことが唯一の道だということを知りました。今回の経験を機に、もっと国際問題にアンテナを広げていきたいです。

**三輪** 私が興味を持っていた女性の権利についての問題が、訪問したどの機関での講義でも取り上げられており、女性の時代が来ることを実感。同時に、私も頑張ろうと思いました。1年生で参加した

こともあって、他の参加学生に比べて専門性が低く、自信もなくて悔しい思いもしましたが、だからこそ、今後の大学生活では貪欲にいろいろなことを学ぼうと決心しました。

**稲垣** その気持ち、分かります。昨年、このプログラムに参加した後、私ももっと勉強しなくてはと感じて、日本国内で国連の活動に興味がある人たちと交流するようになりました。そういった意味でも吸収することは多かったですね。今後も世界に目を向けながら、公衆衛生について学び、特に途上国の子ども力になれる仕事をしたいと思っています。

**吉村** 印象的だったのは、国連で働いている人の経歴。職員になるまでの道のりはさまざまで、これまでの経験を生かして幅広い分野で国際社会に貢献している人がたくさんいました。国連で働くという夢をかなえるための道は決して一つだけではないのです。私は、日本の観光に興味があるのですが、将来やりたいことや今後勉強すべきことについて考えさせられました。

**中野** 国際協力機構 (JICA) で働きたいという強い思いで今まで頑張ってきました。今回、いろいろな講義を聞く中で、

自分のやりたいことをできる場所は JICA 以外にもあることを知り、将来について考えるよいきっかけになりました。

**川部** 新しい視点を得たということですよ。それは、私も強く感じます。今、世界で何が起きているのか、それらに対して国連がどんな役割を果たしているのか。これまで触れる機会がなかったさま



ざまな国際問題に関して、このプログラムに参加することで生きた知識が身に付き、自分自身の世界が広がりました。

**宮下** 私は、移民や難民の問題に興味があり、国連が問題解決のための機能を果たしているのか自分で確かめたくて参加しました。知りたいと思っていた難民を受け入れた国の人々の権利について講義

で質問することができたことは大きな収穫でした。国連職員は世界各地に赴いて仕事をするので、たくましい雰囲気の人が多いのかなと想像していたのですが、スタイリッシュな人が多くて驚きました。そんな、仕事とは違った一面が見られたこともよい経験です。

**森重** このプログラムに参加したのは2年前。今春、石川県でのUターン就職が決まりました。出身地や学ぶ場所は違っても、縁あって出会い同じ経験を共有する私たちが、今後も各分野で活躍しながら石川県をベースにつなげていけたら素敵だなと思います。

**蓬田** 皆さんの話を聞いて、3年前に帰国したときの気持ちを思い出しました。自分の無力さ、無知さを思い知り、もっと勉強したいと心から思ったあの時の熱意を絶やさず、今年予定している1年間のアメリカ留学を意義あるものにしたと思います。今後は同窓生として互いに高めあっていきましょう。



早稲田大学 政治経済学部政治学科 中野 早貴



金沢医科大学 医学部医学科 川部 満希



金沢大学 人間社会学域 国際学類 宮下 ふき子



第4期生 蓬田 大地



第5期生 森重 有里彩



第6期生 稲垣 陽子



SPECIAL  
01  
INTERVIEW

得たものは、  
目標に向かって歩き出す勇気

金沢医科大学 医学部 医学科 3年  
愛知県出身 川部 満希

私が学ぶ金沢医科大学は単科大学なので、日ごろから違う学部や学科の学生と交流して視野を広げたいと考えていました。加えて、1年前に旅行先のカンボジアで病院を見学して以来、医師になったらボランティアなどに参加し、発展途国の手助けをしたいと考えていたので、国連の活動内容や関係機関について知ることは、将来きっと役に立つだろうと思い、今回参加しました。

ニューヨークでの約2週間は、想像以上に充実した日々。なかでも、海外で何かしたいという漠然とした夢が、自分に何ができるのか、そのために今何をすべきなのかを具体的に考えられるようになったことは大きな成果でした。そして、同じ志を持った学生との出会いもかけがえのないものでした。

実は、1年前からこのプログラムについて知っていたのですが、英語力に自信がなくて一度は応募を見送りました。しかし、今回参加してみて、このプログラムは、英語力といったスキルではなく、一歩踏み出す勇気をくれるものだと分かりました。迷っている人には、ぜひ参加することをおすすめします。

金沢大学 人間社会学域 国際学類 1年  
石川県出身 吉村 優花

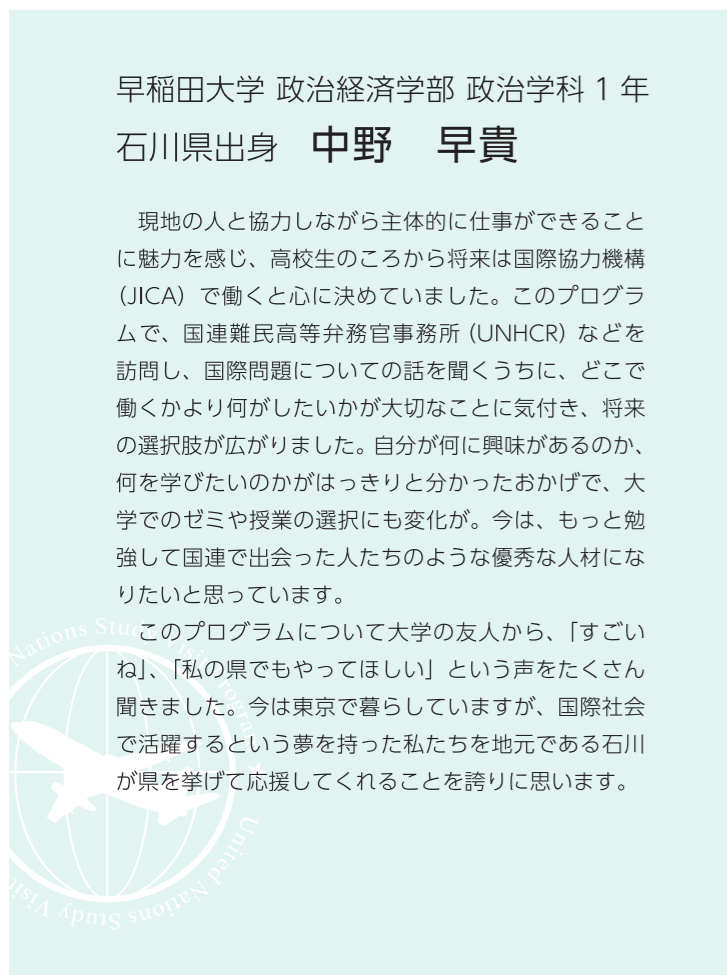
高校生のとき、新聞でいしかわ国連スタディビジット・プログラムを知りました。4年間の大学生活の中でいつか参加できたらいいなと思っていたところ、幸運にも1年生で派遣学生に選ばれ、ニューヨークに行けることに。「国連本部だけでなく、さまざまな機関で異なる分野の人に会って、自分の世界を広げよう」。そう思って旅立ちました。

現地では、国連本部や関係機関で働く人から直接話を聞くなど、貴重な体験ができました。なかでも以前から興味があった日本政府観光局 (JNTO) への訪問では、私もこんな仕事をしたいと強く思い、初めて将来への具体的な目標を持つことができました。1年生のうち今回のような経験ができたことで、これから始まる専門分野の勉強にもより意欲的に取り組むことができそうです。行ってみたいと分からないことがきっとあります。皆さんにもぜひ応募してほしいです。



SPECIAL  
03  
INTERVIEW

目標に出合った、  
かけがえのない時間



早稲田大学 政治経済学部 政治学科 1年  
石川県出身 中野 早貴

現地の人と協力しながら主体的に仕事ができることに魅力を感じ、高校生のころから将来は国際協力機構 (JICA) で働くことに決めていました。このプログラムで、国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) などを訪問し、国際問題についての話を聞くうちに、どこで働くかより何がしたいかが大切なことに気付き、将来の選択肢が広がりました。自分が何に興味があるのか、何を学びたいのかははっきりと分かったおかげで、大学でのゼミや授業の選択にも変化が。今は、もっと勉強して国連で出会った人たちのような優秀な人材になりたいと思っています。

このプログラムについて大学の友人から、「すごいね」、「私の県でもやってほしい」という声をたくさん聞きました。今は東京で暮らしていますが、国際社会で活躍するという夢を持った私たちを地元である石川が県を挙げて応援してくれることを誇りに思います。

SPECIAL  
02  
INTERVIEW

将来の選択肢が拡大し  
学ぶ意欲もアップ



SPECIAL  
04  
INTERVIEW

4期生  
蓬田 大地

このプログラムは夢へのスタート



SPECIAL  
05  
INTERVIEW

5期生  
森重 有里彩

行きたいという気持ちを最優先に

「国連機関で医師として働き、一人でも多くの人を感染症から救いたい」という夢を明確化し、これからどういう道に進むべきか、キャリアの積み方や次の選択肢を示してくれたのが、いしかわ国連スタディビジット・プログラムでした。日本の医学部で学びながら、アメリカ合衆国の医師国家試験であるUSMLE (United States Medical Licensing Examination) に挑戦する力になったのも、国連職員の話や、活動を目の当たりにしたニューヨークでの経験。派遣後、講演会や同窓会活動を通じてたくさんの国連職員と知り合いになり、インターンシップ参加に関してなど折に触れてアドバイスをいただけるようになったことも夢へ一歩ずつ近づけている理由の一つだと思います。このプログラムは、ゴールではなく次のステップに進むスタート。目標が明確でない人こそ、参加してみてもいいのではないでしょうか。

国連本部をはじめとする国際機関で活躍するエキスパートに、現地で直接話を聞ける。こんな有意義な時間は他にないと思います。このプログラムに参加すれば、国連本部に足を踏み入れるという貴重な経験ができるだけでなく、自分の今の力やできること、やりたいことに気付くこともできます。ニューヨークに行って何かを感じ、そこから自分が進みたい道を探す。そんな「逆算」も学生だからできること。明確な目標がなくても、参加したいという気持ちを大切にしてほしいと思います。そこには必ず将来につながる学びがあるはずです。



# いしかわ国連スタディビジット・プログラム同窓会

「いしかわ国連スタディビジット・プログラム同窓会」では、研修での体験を後輩に伝えるとともに、国連職員による講演会や、派遣学生との事前研修会などを開催しています。同窓生がプログラム終了後も互いにつながり、高め合いながら石川県の国際人材の育成とネットワークの構築に取り組んでいます。



## これまでの活動

- 国連職員講演会を石川県と連携し開催
- 国連生物多様性の10年キックオフイベントにボランティアスタッフとして参加
- プログラムの募集説明会にOB・OGとして参加
- プログラムの面接選考に選考委員として同窓会会長が参加
- 「能登イングリッシュ・エキスパート in のとカフェ」にティーチングアシスタントとして参加
- 金沢泉丘高等学校スーパーグローバルハイスクール(SGH)事業に参加

**Check!**

実際の訪問の様子はこちら!

いしかわ国連  
スタディビジット・  
プログラム同窓会  
Facebook ページ




## OB/OG のその後の活躍

- 海外留学
  - ・米国コーネル大学医科大学院、米国ニューヨーク州立大学オズウェゴ校、北京師範大学、スペインレオン大学 等
- 海外でのインターンシップ・研修等への参加
  - ・ベトナム国立小児病院で臨床実習、フィリピンの孤児院、助産院でのボランティア
  - ・フランスオルレアン大学語学研修
  - ・米国ワシントン州シアトル市 University of Washingtonにて教育系NPO法人FIUTSでのインターンシップ参加 等
- 進学、就職等
  - ・ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)大学院進学、イギリスリーズ大学ビジネススクールマネジメント科修士課程入学、京都大学大学院進学、三菱商事株式会社、財務省名古屋税関、全日本空輸株式会社、北陸朝日放送株式会社 等



いしかわ国連スタディビジット・プログラムは、  
将来的に石川の国際交流・国際協力を支え、石川と世界の架け橋となる人材を  
育成することを目的とした、石川県独自のプログラムです。

国際政治の第一線で働く国連職員から直接活動内容や国連を取り巻く世界情勢を学び、  
国連の活動を肌で感じてほしいと願っています。

## いしかわ国連スタディビジット・プログラム実行委員会

〒920-8580 石川県金沢市鞍月1-1 石川県企画振興部企画課内  
TEL 076-225-1318 FAX 076-225-1315  
E-mail:kikakuka@pref.ishikawa.lg.jp

いしかわ国連スタディビジット・プログラム

検索



石川県ホームページ